

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科

芸術

科目 音楽基礎

教 科： 芸術

科 目： 音楽基礎

単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 7 組

教科担当者：（1～7組：宮澤）

（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ MUSA1

）

教科 芸術

の目標：

【知 識 及 び 技 能】音楽の諸要素とその働きを理解し、音楽を通して感受した内容の表現に活用する

【思考力、判断力、表現力等】音楽の諸活動を通して感受した内容を知覚、判断し、音楽の諸要素の働きと結びつけて表現する

【学びに向かう力、人間性等】音楽の諸活動に主体的に取り組み、感受した内容を表現しようとしている

科目 音楽基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
○音楽の諸要素とその働きについて理解を深めている。○音楽の諸活動を通して感受した内容を、音楽の諸要素とその働きを用いて具体的に表現している。	○音楽の諸活動を通して感受した内容を知覚、判断し、音楽の諸要素の働きによってその内容を適切に説明・表現している。	○音楽の諸活動に主体的に取り組み、感受した内容について深く考察しようとしている。○自らの感受した内容についての確に表現できるよう工夫をしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創							
1 学 期	【知識及び技能】 発声の基礎を学び、美しい声で歌う。音楽の諸要素とその働きについて学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲にあった歌い方の工夫をする。音楽の諸要素とその働きを用いて効果的な表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 表現する内容に適した表現方法を考え、積極的に表現しようとしている	・歌唱及び合唱	○					【知識・技能】 美しく響く発声で歌っている。旋律の動きやリズムの特徴、ハーモニーの美しさを表現できている 【思考・判断・表現】 楽曲の内容によって適した歌い方を考え、表現する。楽曲の良さを感受し、それがどのような要素から生み出されるのかを考えている。その良さを伝えるためにどのような表現が適切か判断し、表現できている 【主体的に学習に取り組む態度】 楽曲の良さを感受し、積極的に表現しようとしている	○	○	○	10
	【知識及び技能】 リコーダーの吹き方、運指を理解し、演奏することができる。相手の音を聴きながらアンサンブルすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の諸要素とその働きを用いて効果的な表現を工夫する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に学習に取り組み、相手と協力してアンサンブルをしている。	・リコーダーアンサンブル ・オリジナル音源や映像の視聴		○		○		【知識・技能】 素早く正確な運指で演奏できている。相手の音を聴きながらアンサンブルすることができる。 【思考・判断・表現】 音楽の諸要素の働きを理解し、適した表現を選んで演奏することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 楽曲の良さを感受し、積極的に表現しようとしている。相手と協力しながらアンサンブルを練習できている。	○	○	○	10
	【知識及び技能】 ミュージカルの歴史と特徴、代表的な作品について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ミュージカル作品を鑑賞し、感受した内容を音楽の諸要素とその働きを用いて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ミュージカルの歴史と作品に興味を持ち、積極的に学習に取り組む。	・ミュージカルについて				○		【知識・技能】 ミュージカルの始まりから発展、現在までの歴史とその特徴を理解できている。 【思考・判断・表現】 ミュージカル作品の感想を書くにあたり、感受した内容を音楽の諸要素の働きを用いて分析し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ミュージカル作品を集中して鑑賞し、感じたことをよく分析して表現しようとしている。	○	○	○	4
2 学 期	【知識及び技能】 イタリア語の発音、発声を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽の諸要素とその働きを用いて、歌の内容を効果的に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 発声と音楽の美しさを感じ、自らの声で表現する。	・イタリア歌曲を学ぶ	○					【知識・技能】 イタリア語の発音、発声を理解し、表現できている。 【思考・判断・表現】 音楽の諸要素の働きを用いて効果的な表現が出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 楽曲の内容を理解し、気持ちを込めて歌うことができる。	○	○	○	14
	【知識及び技能】 ギター及びコード表の読み方を理解し、簡単な伴奏を付けて弾き語りすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲に適した伴奏を考え、弾き語りをする。 【学びに向かう力、人間性等】 美しい音を出すことや、素早くコード移動を行うにはどうすればよいのか考え、主体的に練習に取り組む。	・ギター弾き語り	○	○				【知識・技能】 ギター各部の名称、取り扱い方を理解している。コード表の読み方を理解し、自分でコードを押さえることができる。 【思考・判断・表現】 楽曲に適した伴奏を考え、弾き語りができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 美しい音を出すために、コードの押さえ方や弾き方を考え、工夫している。素早くコードを移動するための弾き方、練習方法を工夫している。	○	○	○	12

3 学 期	【知識及び技能】 言葉のリズムを活かし、ストーリー性を持ったアンサンブルを創作する。 【思考力、判断力、表現力等】 言葉の持つリズムや他の言葉と組み合わせたときの面白さを理解し、アンサンブルとして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的にグループ学習に取り組んでいる。	・リズム創作				○		【知識・技能】 言葉の持つリズムを理解し、楽譜で表すことができる。複数の言葉を組み合わせ、ストーリー性を持ったアンサンブルを作ることができる。 【思考・判断・表現】 面白い言葉の組み合わせや、ストーリーによって変化するリズムなどを工夫できている。音楽の諸要素の働きをつかって表現に工夫ができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 グループ活動において積極的に意見をだすなど主体的な取り組みが来ている。	○	○	○	12
	【知識及び技能】 英語、ドイツ語、日本語の音名を学び、それぞれの特徴や音楽での使われ方を理解する。	・楽典				○		【知識・技能】 英語・ドイツ語、日本語の音名を答えることができる。派生音の仕組みを理解し、音名で答えることができる。それぞれの言語の音名が主にとどのような場面で使われているか理解している。	○			8
	合計											70